Fukuoka Asian Art Museum Information

福岡アジア美術館インフォメーション ※スケジュールは変更することがあります。また、展覧会最終日は、終了時間が早まることがあります。事前にご確認ください。
Schedule subject to change. Exhibitions may close early on final day (please check in advance).

アジアギャラリー A Asia Gallery A (Permanent Collection)

7F

4/4(木)-7/2(火)

ポートレイト・ミュージアム

September **August**

ベトナム・うるわし・なつかし 7/4(木)-10/1(火)

8/22(木)-8/27(火)

Fukuoka University of Education
Presented by Graduates from Fukuoka

福岡教育大学書道科福岡県人会8/22(木)-8/27(火)

佐伯和子の絵画・オリジナルジュエリー展 8/22(木)-8/27(火)

■ 8/29(木)-9/3(火)

c 第13回テキスタイル&

ファム・ヴァン・ドン「チュン姉妹と進め」1970年 Pham Van Don "Advance with the Trung Sisters" 1970

アジアギャラリー B

3/22(金)-7/2(火) Asia Gallery B (Permanent Collection)

7F

夏休み★あじびパレット -あか、あお、きいろってどんな色? 7/4(木)-10/15(火)

ン・チャン・スー(ミャンマー)「すいか」1998年 Chan Su (Myanmar) "Water Melon" 1998

企画ギャラリー A・B・C

第41回日本の書道九州展7/4(木)-7/9(火)

1 九州産業大学芸術学部写真映像学科

B 第11回日中韓友好児童絵画展 C ~日中友好条約諦結35周年記念事業~

7/11(木)—7/16(火) 11th Japan, China and Korea Friendship

A NTT西日本スペシャル B おいでよ!絵本ミュージアム2013 季節と食~いのちのかがやき しぜんのめぐみ いただきます!~

7/26(金)—8/18(日)

7F

8F

交流ギャラリー Artists' Gallery

第41回日本の書展九州展 7/4 (木) -7/9 (火)

人道の外交官「杉原千畝」 6000人の命のビザ・遙かなる旅路展 7/11 (土) -7/16 (火)

xhibition "Sugihara Cgiune": As a Diplomat and a Humanitaria –6000 Visas and Distant Journey for Life—

第13回アーティスト・イン・レジデンスの 成果展パート1 7/20 (土) -8/5 (月)

7/11(木)—7/16(火) Photography Exhibition of Momose Seminar Kyushu Sangyo University

Nature and Food: Welcome to Picture Book Museum 2013 開場午前10時〜午後6時(入室は〜午後5時30分),会期中無休 Open 10am and 6pm daily (admission until 5:30pm)

8/8 (木) —8/13 (火)

フクオカフォトフェスティバル2013・ 8/15 (木) -8/20 (火) Fukuoka Photo Festival 2013: Busan, Ulsan Exchange Photo Exhibition

ファイバーアートグループgrasp展 8/29(木) — 9/3(火) 13th Textile & Fiber Art Group "grasp" Exhibiton

家族の時間・写真展

8/22 (木) -9/3 (火) **PHOTO JAM**

8/22 (木) -8/27 (火)

九州造形短期大学学生作品展 8/29 (木) -9/3 (火)

A イメージラボ写真教室

第14回作品展 9/5(木)—9/10(火)

『文化人・芸能人の多彩な美術展』2013 c 9/12(木)-9/17(火)

第12回現美墨象展 9/19(木)-9/24(火)

B キルトin ライフ おくむらグループ展 9/19(木)-9/24(火)

9/19(木)-9/24(火)

福岡インディペンデント映画祭 (FIDFF)2013 9/5 (木) -9/10 (火)

> 第43回世界児童画展 9/14 (土) -9/16 (月)

9/19 (木) -9/24 (火)

蔚山大学校デザイン大学 視覚デザイン学科卒業作品展 9/26 (木) -10/1 (火)

Degree Show: Visual Design Course, School of Design, University of Ulsan

東アジア映画フェスタ2013

9/19 (木) -9/24 (火)

その他のイベント

アートリエ ラウンジ・コンサートvol.4

9/2 (月) 18:30~19:30

台湾映画祭2013 会場: 彫刻ラウンジ (7階) ARTLIER Lounge Concert vol.4 Venue: Sculpture Lounge (7F)

9/12 (木) -9/17 (火) 会場:あじびホール(8階) Taiwanese Film Festival 2013 Venue: AJIBI Hall (8F)

会場:あじびホール(8階) East Asian Film Festa 2013 Venue: AJIBI Hall (8F)



市営地下鉄

中洲川端駅 下車、6番出口より徒歩すぐ 福岡空港 駅より9分

博多駅より3分

川端町・博多座前 バス停下車、徒歩すぐ

博多座・福岡アジア美術館前 バス停下車、徒歩すぐ(ぐりーんパス)

□太宰府方面から都市高速 千代 ランプより車で約7分 ◎北九州方面から都市高速 呉服町 ランプより車で約5分 ※昭和通りより、博多リバレイン地下の駐車場(有料)をご利用ください

午前10時~午後8時まで

入場は午後7時30分まで) 休館日 毎週水曜日(水曜日が休日の場合はその翌平日)

年末・年始(12月26日から1月1日)

Alight at Nakasu-Kawabata Station and take Exit6 •From Fukuoka Airport: 9 minutes

•From JR Hakata Station: 3 minutes

•From Tenjin Station (from Nishitetsu Fukuoka Station): 1 minute Bv Nishitetsu Bus

Kawabata-machi / Hakataza-mae bus stop

Hakataza / Fukuoka Asia Bijutsukan-mae bus stop (Green Bus)

•From Dazaifu: 7 minites from Chivo Ramp, Urban Expresswa •From Kitakyushu: 5 minites from Gofukumachi Ramp, Urban Expressway *Enter Hakata Riverain Bldg underground parking from Showa-dori

Open 10:00-20:00 (Last admission 19:30)

Vednesdays r the following day if Wednesday is a national holiday) New Year's Holidays (26 December-1 January)

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階 TFI 092-263-1100 7F+8F Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0027 Japan URL: http://faam.citv.fukuoka.lg.ip/

Jul. 2013 **Fukuoka Asian Art Museum News** vol.53 exhibition おいでよ!絵本ミュージアム2013 ベトナム・うるわし・なつかし 夏休み★あじびパレット fukuoka triennale 「第5回福岡トリエンナーレへの道」連載前企画 どうなるFT5?教えて、学芸課長 あじび学芸員オススメのアジアのグルメ&グッズ 案内・解説ボランティア3期生始動! residence program アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1 my favorite piece タル・ス・ロン・トラン・コストラン・リム・ボーテク/林保徳(シンガボール)「スリリング・シティNo. 5」1991年(部分) from "Summer Holiday at FAAM" Exhibition n Poh Teck (Singapore) "Thrilling City No. 5" 1991 (detail)

7月26日(金)~8月18日(日) 企画ギャラリー

Fri 26 July - Sun 18 August Exhibition Gallery

NTT西日本スペシャル

おいてよ! 絵本ミュージアム 2013

「季節と食」~いのちのかがやきしぜんのめぐみいただきます~

Nature and Food: Welcome to Picture Book Museum 2013

夏休み恒例!絵本的空間に入り込み、まるで絵本の登場人物になったような体 験ができる展覧会「おいでよ!絵本ミュージアム」が今年も開催され<mark>ます。今回は、</mark> 「自然」と「食」に注目します。子どもの健やかな成長には、自然との触れ合いや季 節を感じる感性は欠かせません。会場では、夏の1日を体感できる部屋を皮切り に、秋から冬、春と季節をめぐりながら自然の大切さを伝えます。四季折々の里山 の風景、野原での花摘み、川べりの散歩など、日常から消えつつある光景・身近な 自然の存在を、絵本を通して見つめ直す機会となることでしょう。

終盤は、みんなが大好き「食」のコーナーです。数々の美味しそうな食べ物の絵 本に、お腹がぐ~っと鳴るかもしれないので、ご注意を! また、宮沢賢治『注文の多 い料理店』に出てくる「山猫軒」も会場に現れます。胃袋を満腹にはできませんが、 食の大切さ、食をとりまく家族の営みなど、「いのち」を育む「食」を知り、楽しむこ とで、きっと心が満たされます。

会場には、約1000冊の絵本をはじめ、約60点の絵本原画も登場します。

絵本から広がる世界・未来

展覧会の企画者の1人、NPO「子ども文化コミュニティ」 代表理事・高宮由美子さんに、お話をうかがいました。

「『絵本ミュージアム』は、美術館をはじめ、民間企業、ボ ランティアさんや学生さんなど多くの人の手で作られる展 覧会です。関わる人々全てが"子どもたちの心、未来を豊か に"と願いながら継続し、今年7年目を迎えました。絵本はい ろんな可能性を持っています。絵本を通して社会や暮らし とつながったり…。子どもは、本当に何が良いかを見極める 力を持っています。いろいろな絵本と出会うことで、子ども の世界が広がります。学ぶというより、まずは楽しく絵本に 触れてください。感じることが、自然と学びになるのです」。

なお、会場の絵本1000冊の選書は「子ども文化コミュニ ティ」によるものです。1冊1冊思いを込めて選ばれていま す。ぜひ、手にとってお読みください。

Summer holidays! With a picture book-inspired setting, and displays that'll make you feel like a storybook character, the exhibition 'Welcome to picture book museum' is on again. This year's focus is 'nature' and 'food'. Nature and the seasons are essential experiences for the health of growing children. The exhibition features a room where visitors can experience a day of summer, while learning about nature through displays on autumn, winter and spring. From

mountain village scenes throughout the seasons to wildflowers and riverside pathways, these displays let children experience familiar - albeit disappearing - natural scenes through the world of picture books.

Over in the food section, the delicious-looking food pictures will have your tummy rumbling. Even if the pictures don't sate your appetite, they are satisfying in their enjoyable portrayal of the importance of food and its role in family life and nourishment.

With 1000 books on display, the exhibition also includes 60 original illustrations from books.

> 開場は午前10時~午後6時(入室~午後5時30分まで) ○一般900円(700円) 高大生600円(400円) 小中学生400円(300円)

※この料金でアジアギャラリーA・Bもご覧いただけます。

Open 10am to 6pm daily (admission until 5:30pm) OAdult ¥900 College & High School ¥600 Secondly & Elementary School ¥400

イベント盛りだくさん

i切は7月12日(金)!

要申込みのイベント
※各イベントの参加費、定員、対象などの詳細および申込み方法については、ホームページをご覧ください。 おいでよ!絵本ミュージアム http://www.kodomo-abc.org/ehonmuseum2013/

絵本作家はたこうしろうワークショップ

「ヒトのカタチ、いろんなカタチ、自由に色をぬってみよう!」

絵本作家加藤休ミワークショップ

「加藤休ミとクレヨンで描こう! おもしろおにぎりをつくろう!」 7月28日(日)、29日(月)午後1時30分~3時30分

紙芝居連続講座 「演じるよろこび すばらしい紙芝居」 8日3日(十) 4日(日) 午後1時~4時

......

ピッケのつくる絵本 8月10日(土)~14日(水) 絵本作家やまだうたこワークショップ 「みつばちバジーちゃんの トートバッグをつくろう!」 8月10日(十),11日(日)

午前11時~午後1時、午後3時~5時

9月10日(エグ・14日 437) 午前10時30分~午後12時30分、午後2時~4時 ダンス・ワークショップ「うごきだす絵本」 8月13日(火)~17日(土)午後1時~4時



絵本作家はたこうしろうワークショップ 「いきものがいっぱい! カラフルどうぶつえん」

絵本作家はたこうしろうライブペインティング &TNCアナウンサーとのトークショー 7月26日(金)午前11時~11時30分

料金:無料 会場:ともに彫刻ラウンジ

🧱 絵本のよみきかせ

7月26日(金)~8月18日(日) 8月1日(木)~9日(金)、 午前11時~、午後1時~ 12日(月)~14日(水)、18日(日) 午前11時~午後12時、 会場:ラウンジM8 参加費:無料 午後13時30分~2時30分 会場:彫刻ラウンジ

🧮 おいしい絵本ワークショップ

参加費:500円

もくねんさん (おがくずでできた粘土で工作教室)

ジュースの糖度実験 8月15日(木)~17日(土) 10:00~17:00

会場: 彫刻ラウンジ 参加費: 100円

7月4日(木)~10月1日(火) アジアギャラリーA Thu 4 July - Tue 1 October Asia Gallery A

ベトナム・うるわし・なつかし

Nostalgia: Paintings from Vietnam

陽光ふりそそぐ穏やかな田園風景、そこに佇む女性の姿。フランスの植 民地だったベトナムは、ヨーロッパの文化の影響を受けながら、独自のスタ イルを作り上げてきました。ベトナムの近代絵画によく描かれるアオザイに 身を包んだ女性像は、まさに「うるわしのベトナム」といえるでしょう。また、 透けるように繊細な色使いの絹絵や板に漆を塗り重ねて描く漆絵による 表現は、どこか素朴で、なつかしさを誘います。本展では、約30点の絵画作 品でベトナム美術の魅力を紹介します。

透けるような絹絵



ト・ゴク・ヴァン「美人画をみる女性」1938年 To Ngoc Van "A Girl Gazaing at a Painting Representing a Belle

A sunlit rural scene and the form of a woman - such is the typical premise of much Vietnamese painting, With its history as a French colony, Vietnam blends European culture with its own original aesthetic. Much modern Vietnamese painting depicts women wearing the traditional aozai, an expression of 'beautiful Vietnam'. Yet in the detailed, almost translucent colour application of Vietnam's silk paintings and the expressive qualities of its layered lacquer paintings, nostalgia resides. This exhibition brings together about 30 works of Vietnamese painting.

つややかな漆絵



グエン・カン「ホーおじさん、村へ行く」1958年 Nguyen Khang "Uncle Ho Visiting the Village



タ・ティ(1920-2004)は、ベトナムの近代 美術にキュビスムをもたらした画家。都会 的なデザイン・センスが光るタ・ティ作品 を、寄託作品と合わせて特集します。

Ta Tv (1920 – 2004) is the artist who reputedly brought Cubism to Vietnam. His stylised urban images will be displayed alongside works entrusted by a private collector to FAAM.



◎一般200円 高大生150円 中学生以下無料 OAdult ¥200 College & High School ¥150 *Free for Secondary school and under

7月4日(木)~10月15日(火) アジアギャラリーB Thu 4 July - Tue 15 October Asia Gallery B

夏休み★あじびパレット 一あか、あお、きいろってどんな色?

Summer Holiday at FAAM —Popping Colors! Red, Blue and Yellow!

世界は、色であふれています。ただそのとらえ方や用い方は、その 人が持つ文化や時代、そして個人の資質によって違うのかもしれま せん。そんな不思議で、魅力的な色の世界に、どっぷりとつかってみ ませんか!? 本展では、色とじっくり向き合うことのできる、3つの部 屋を用意しました。子どものための「色と遊ぶワークショップ」も開 催。色とアートの出会いをお楽しみに!

The world is awash with color. But the way color is perceived, felt and employed varies between people, often depending on cultural, historical and individual qualities. This exhibition explores the wonderful world of color, bringing visitors face to face with the subject in three separate rooms. There is also a color workshop for children. It's all about fun with art meeting color!

色と遊ぶワークショップ「カラフルこまを作ろう!」 7月28日(日)午後1~4時の間で随時受付(15分程度、申込み不要)詳細はあしてHPまで 'Making colorful spinning tops' – workshop of color play



あおい

ロベルト・フェレオ(フィリピン) Narda's Suitors" 1987

ャグダルジャヴィン・チメドルジ(モンゴル)

Shagdarjavin Chimeddorj (Mongol) "The Morning" 2000

ニルーファル・チャマン(バングラデシュ) 「パキラ、オ パキ アグンタ ニビエジャー(シリーズ3)」

Niloofar Chaman (Bangladesh)

AlbiNews

the news on FT5

「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ(FT5)」が、2014年秋に開催されること が決定しました。「あじびニュース」では、学芸員によるFT5の最新情報をお届け する連載「第5回福岡トリエンナーレへの道」を次号から始めます。連載開始の前 に、FT5の特徴について黒田雷児学芸課長にお話を聞きました!

一アジア新進作家の紹介や交流プログラムの

-We hear that FT5 will again feature Asia's most innovative artists, and a full lineup of exchange events. Can you tell us what will be



黒田:まずは、映像や写真などメディアアート的な作品にひとつの 焦点をおいて紹介したいと思っていますが、企画領域を広げるた めに外部機関との連携を進めます。あじびが福岡市美術館、福岡 市博物館とともに経済観光文化局に移ったこともあり、同局の他 の企画と連携することで、あじびの調査や組織力ではできない部 分を補っていけたらと考えています。また、いろんな文化ジャンルが 集う大名のビル「紺屋2023」に今回から実行委員に入っていただ きました。このような新態勢を生かして、地元や新ジャンルのクリ エイターの紹介やイベント連携をしたり、FT4でやったような、大 学との連携も予定しています。

Kuroda Raiji: Firstly, we're planning to have a special focus on media works such as video and photography, and we're planning to widen the field for FT5 through collaborating with other organizations. Recently we've moved to the City's Economy, Tourism and Cultural Bureau, along with Fukuoka Art Museum and Fukuoka City Museum. Through links with other sections of the department, FAAM can achieve things that our research capabilities and organizational structure could otherwise not. Also, this time part



of our executive committee will work with the konya 2023 project in Daimvo. As well, we plan to introduce local artists and new-genre creators, and forge links with local events. We'll also continue our collaborations with universities, as we did in FT4.

-福岡の他の展覧会などとも横につながることで、 「福岡らしさ」が前面に出るような気がします。

It sounds as though these collaborative efforts will make Fukuoka shine during this event.

黒田:だから今回は「福岡初・福岡発」とうたっています。具体的に はまだお知らせできませんが、すでに案はいくつかあります。

KR: Yes, which is why we want the event to emphasize the notion of 'First ever in Fukuoka and First Step to the World'. I can't reveal much more, but several plans are being put together.

※写真は全てFT5調査の記録写真 *All images are archive photos taken for FT5 research



The 5th Fukuoka Asian Art Triennale (FT5) will be held in fall 2014. Starting with the next issue of Ajibi News, we will start a new article series in which curators tell us the news on FT5, 'Journeying towards the 5th Fukuoka Triennale'. For this issue Chief Curator, Kuroda Raiji, took the time to describe some highlights of this event.

一そのほかの特徴は?

-Are there any other highlights we can expect?

黒田:特別部門を初めて設けます。いわゆる現代美術という先端 的なアートに焦点を当てるのは福岡トリエンナーレの基本ですし、 新しい動きが伝えられ魅力的ですが、一方で拾えない部分がでて きます。そのひとつが、伝統絵画のジャンルです。今回の特別部門 では、モンゴル画を紹介しようと考えています。モンゴル画のモ チーフはここ数年、これまでの伝統的なものから、身辺的、日常的、 あるいは政治的なもの、日本のアニメ・漫画に影響されたものとい うように大きな変化を遂げています。まさに今が、紹介すべきタイ ミングなのです。またもう一つの特徴としては、レジデンスの持続 性を考慮して、過去のレジデンス事業で紹介した作家を紹介する レジデンス・リターンズ的な展開も考えています。

KR: We'll be staging a special exhibition for the first time. The Triennale's concept has always been

to celebrate contemporary art and introduce new directions in art. but this has revealed the importance of genres we can't suppress: one of them is a traditional painting. We are thinking of showcasing

Mongolian painting in this Triennale's focus section. Motifs in Mongolian painting have changed enormously in recent years, from traditional imagery to personal.

everyday, political and even cartoon-inspired imagery. Now is a good time to showcase these changes. Another highlight of FT5 is our 'Residents Return' idea, in which artists featured in previous residence programs appear in events that highlight the value of the FAAM residency.

一今回から作家選考方法が変わるそうですが。

—We also hear that the artist selection process is changing for FT5.

黒田:これまで開催してきた外部の専門家による作家選考協議会 を廃止して、あじびで作家を決定することになりました。もちろん 外部専門家の意見は取り入れますが、バランスや重点を考えたこ れまでよりも丁寧で戦略的な選考ができ、なによりあじびの特色 が強く出せると思います。

KR: We will be selecting artists internally at FAAM, rather than outsourcing to an external expert panel. The process will still incorporate the advice of outside experts, but will enable a more strategic, balanced and considered selection that has bears the FAAM hallmark.



あじび学芸員オススメの アジアのグルメ&グッズ Asian flavors and products:

A selection by FAAM curators

FT5開催に向け、昨年9月からアジア各地を調査訪 問しているあじびの学芸員たち。大規模な国際展や 重要なアートスポットを訪れたり、アーティストに 会ったりと限られた時間を最大限に使って調査をお こなっています。その調査の様子は次号からお伝えす ることにして、今回は彼らが調査の合間に見つけたオ ススメのグルメ&グッズを教えてもらいました。この 夏、アジア旅行を考えている方は、ぜひご参考に!

FAAM's curators have travelled to various regions in Asia since last September as they prepare for FT5. ing every second of their limited time, they have visited major international-level art venues and art hot spots, and met with many artists. We'll report on some of their findings starting with the next issue, after reporting first on their favorite flavors and products in this issue.

インド India

レモネードにすりつぶしたミントを混ぜた「フレッ シュ・ミント・レモネード」。南アジア各地で飲めるけ ど、南インドのコーチンのカフェで飲んだものは、ミ ントのビター具合が絶妙で一番美味しかった~(N) 別世界に飛べそうな爽やかさ!(I)

"I've enjoyed lemonade throughout south Asia. The most delicious was one I tried in the southern India city of Cochin, where the nint had a particularly subtle bitterness." (N "It had such a punch I felt I'd be able to fly around the world afterwards!" (I)



動物もののグッズに弱く、狂喜乱舞して買っ て、愛おしく抱えて帰国する私。このモコモ コしたフェルトのラクダに心奪われました モンゴルはフェルトの歴史が古く、フェル 雑貨がたくさんありますよ(I)

"I have a fondness for animal trinkets, and I love to se them out and bring them home. In Mongolia, this camel of felting, so you can find lots of items made from felt." (I)

バングラデシュ Bangladesh

こちらも動物ネタ(笑)。右は手足がカタカタと動く、トラのおも らゃ。左はあじびでもおなじみのリキシャペインティングの動 物バージョンのでっかいカード(I)

right is a toy tiger that has moving legs. On the left is a card taken from rickshaw ar

"We highly recommend this art space in

previously exhibited at FAAM, and some

ting contemporary art." (K) "Apart from the art and souvenirs, visitors

ure shows a taco-like dish and tuna

an enjoy wonderful food here. This

Colombo. Its collection includes pieces by



韓国 Korea

韓国は35回も行ってますが、今回初

は35回を引うてよりが、う回物めて貽貝(イガイ)の炊き込みご飯「ホンハプパプ」を食べて、大感動!ウルルン島の名物料理らしいのです

が、僕は大邱(テグ)で食べました(K)

"I've visited Korea 35 times, but

was served rice steamed with mussels for the first time recently

インドネシア Indonesia

ジャワ島西部地方の郷土料理「スンダ料理」は、割とあっさり で食べやすい。写真は店ではなく、アーティストのヘラ・ファラ サリが作ってくれた、これぞ本物の家庭料理(K)

and enjoyable. The cuisine shown here isn't at a restaurant but was served by the artist, Herra Pahlasari



アートスペース「a-14」も運営する アーティスト・ヘラさん Herra, who also runs the art space a-14.

BAREFOOT

スリランカ Sri Lanka

コロンボおすすめのアートスポット。あじびで以前展覧会をおこなった写真家ライオネル・ウェントのコレクションがあり

アートやグッズだけでなく食べ物もオススメ。写真はタコスのような食べ物。奥のツナサンドは大きなツナがごろんと入って

オススメアートスポット「BAREFOOT」

現代美術も紹介しています(K)

いて、大満足(N)

案内・解説ボランティア3期生始動!

The 3rd Group volunteer guides get to work!

4月1日、アジアギャラリーの作品解説やあじびの施設案 内をおこなう「案内・解説ボランティア」の3期生43人が、半 年間にわたる実地研修を終えて活動を開始しました。そして 同月28日には九州大学の学生グループにアジアギャラリー の展示作品の解説をおこないました。

「好きな美術を通して社会に何か貢献できれば」と今回ボ ランティアに応募し、案内・解説ボランティアを希望した西 園由梨さん。初めて団体観覧者に解説し、「とても緊張しま した。伝え方一つで作品に対する観覧者の印象が違ってき そうで難しかったです。私たちは案内役ですが、一方で、観 覧者の反応や感想から得られるものもたくさんあるなとも 感じました。まだ駆け出しですが、これから美術館を訪れた 人に心豊かになってもらえるよう努めていきたいです」との 感想と意気込みを述べてくれました。

案内・解説ボランティアは、毎日午後1~4時にアジアギャ ラリー前に常駐しています。お気軽に声をおかけください。

On 1 April, 43 volunteer guides (our third group) completed their six-month training and began their work at FAAM's Asia Gallery, where they will help explain the works to visitors and provide guidance around the museum. On 28 April, several members led an explanation session at the Asia Gallery for a group of students from Kyushu University.

Of her reason to apply to become a volunteer guide, group member Nishizono Yuri said: "I wanted to give something back to the society through art that I love." Explaining the artworks in front of her first group was "nerve-wracking", said Ms Nishizono. "The way we explain the artworks really impacts on how viewers then perceive them. I'm still a newbie, but will do my utmost to ensure visitors to FAAM have an enriching experience there," she

The volunteer guides can be found at the entrance of the Asia Gallery every day between 1pm and 4pm for explanations and assistance. Don't be shy in asking them for assistance!



デビューの様子。中央 の写真で解説してい るのが西園さん The 3rd Group volunteers make th group visitor-guiding debut on 28 April. Ms one of the works





AlloNews

ただいま制作中!

Winds of Artist in Residence 2013 Part I アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート

ト1」では、5月からあじびに滞在している2人のアーティストが70日間の 滞在中に制作した新作を発表いたします。福岡で何を題材に、どんなこと を感じながら作品が生み出されていくのでしょうか? 制作中のアーティ ストたちに迫ってみました。

7月20日(土)から開催する「アーティスト・イン・レジデンスの成果展パー On 20 July, the two resident artists who have been at FAAM for 70 days, starting from May, will unveil the fruit of their labors at the Winds of Artist in Residence 2013 Part I exhibition. What have been their sources from the stay in Fukuoka, and which of their impressions will we see in the artworks? We spoke with our resident artists to find out.



様々な場所を訪れ、日本の伝統的文化や儀式を記録するチャリントーンさん



Deeply inspired by Japanese manga, Charinthorn has developed a great interest in all aspects of Japanese culture, from traditional culture through to contemporary subculture. "I'm a bookworm," she laughed, showing us a photo showing some 3000 manga volumes on the shelves at her home. "Often I'll get interested in something through manga, and then read further about it on specialist books or on the internet." In fact, her interest in and knowledge of

Japanese culture possibly exceeds that of most Japanese people. During her residency in Fukuoka, Charinthorn will create a work bursting with themes of traditional culture hidden within everyday Japanese living, and themes of regeneration. "Everything comes from things I've felt or wanted to say," she explained. "For example, a work inspired by ikebana wouldn't show the actual flowers but a philosophical representation of my understanding of the real thing."

The exhibition comprises photographic works inspired by love, 'True Rose', and a video work depicting the artist's experiences in Fukuoka and titled 'Dream of Supernova.' In what ways has she digested Japan through her artworks? Neither fantastical nor real, Charinthorn may have formed a highly individualistic view of the world.



チャリントーン・ラチュルチャタ **Charinthorn Rachurutchata** (タイ/Thailand)

日本の漫画に影響を受け、伝統文化からサブカルチャーにいたるまで日本の様々 な文化に傾倒するチャリントーンさん。「本の虫なんです」と見せてくれた写真には、約 3000冊もの漫画が並ぶ自宅の本棚が写っていました。「漫画を通じて興味をもった ものは、専門書やネットなどを使ってとことん調べます」。日本文化に対する関心や知 識は、ややもすると日本人である我々を凌駕するかもしれません。

福岡では、日本人の生活の中に浸透している伝統文化や輪廻的な考えを明示する 作品を制作します。「私自身が感じたことや言いたいこと、全てはそこから派生します。

> だから例えば、生け花をモチーフにするとしたら物自体を映す のではなく、その哲学を私なりに解釈しビジュアル化していく

展示は、愛をテーマにした写真作品「真実のバラ」と、福岡 での経験をベースにした物語のビデオ作品「超新星の夢」の2 作品からなります。彼女によって咀嚼された「日本」はどのよう な形で現われるのでしょうか。夢とも現実とも付かないような 独特の世界観で見せてくれます。

第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1 Winds of Artist in Residence 2013 Part I

会期:7月20日(土)~8月5日(月) 会場:交流ギャラリー(8階) 料金:入場無料 ※7月20日(土)10:00~アーティストによるギャラリートーク開催 Date: Sat 20 July - Mon 5 August

Venue: Artists' Gallery (8F) Admission: Free Note: Artist talk planned for 10:00am, Sat 20 July



チェン・サイ・ファ・クァン Chen Sai Hua Kuan (シンガポール/Singapore)

例えばコーラを飲んでいたときに風で瓶が鳴ったこと をきっかけに、扇風機で瓶を奏でる作品を思いつく。日常 のふとした出来事への疑問や興味を作品へと発展させる サイさん。「様々な物事に対して人や自分がどう反応する のか?に強い関心があります」。今回は、私たちにとって身 近な存在である"土"を素材に、サウンドインスタレーショ ン「大地の音」を制作します。

「福岡で採取した土を容器に入れ、電極を差し込んで 電気を発生させ、音を生み出します。さらに土器を使って 音を共鳴させようと考えています」。発表する場所も重要 な要素の一つと考えるサイさんは、今回、博多人形に使わ れる七隈粘土を使用し、また同じ土で土器も自作します。

「ちょっと聞いてみますか?」。目を輝かせながら録音機 を取りだし、サンプル音を聞かせてくれました。"ブブブゥ ブブブゥ…"。初めて聴く土の音色です。作品では土の容 器をいくつも用意するそうですが、音色はみな異なるので しょうか?そう尋ねてみると、「いい質問です! でもそれ は、これから実験だね」と笑顔が返ってきました。実際の 答えは…ぜひ会場にてお確かめください。

When Sai sips Coke from a bottle and hears the wind sing inside it, he thinks up an artwork involving Coke bottles spinning above fans. Such is this artist's ability to question everyday occurrences and turn them into art. "I'm very interested in how differently people and I react to the same thing," he explained. For this exhibition, Sai has chosen a very familiar material -

soil - and created a sound installation from this called 'Sound of Earth'.

"I will place electrodes within soil I've gathered in Fukuoka, and run a current through it to make a sound. I will also make resonance sounds using earthenware bowls," Sai told us. An important feature of the artwork will be its display site, Sai said, adding that the soil and earthenware bowls he will incorporate the clay used to make Hakata-ningyo dolls.

"Listen..." Sai played some sample sounds to us, his eyes lighting up. It was the first time we had ever heard earth music. The artwork will incorporate several vessels made of soil, so we asked Sai if they all had a different sound. He smiled, "Good question. But I will need to find that out now." To find out for yourself, make sure to visit FAAM and experience his work.



Sai gathering clay to use in his artworks incorporating sounds and



草原が目に浮かぶ、大自然の雄大さを感じる絵

羊が黙々と草を食べているところを描くという発想も好きですし、構図もすばら しい。一匹一匹羊が繊細に写実的に描かれ非常に技術力の高い作品ですね。大草 原をイメージさせますが、遊牧民が暮らす場所でしょうか? 自然が破壊されていく 世の中、大自然の雄大さを改めてこの絵から感じます。

実は今回、アジア美術館の存在を初めて知り、とても感銘を受けました。私、世界 の未来はアジアにあると感じています。経済成長の勢いは著しく、美術市場におい てもアジア系作家に注目が集まっています。15年前に開館したアジア美術館はま さに先取りの美術館であり、しかも世界唯一! 非常に誇りに感じました。

Redolent with the majesty of nature. a grassy field floats before my eyes...

Hove that this painting simply depicts sheep grazing, and the composition is magnificent. Each sheep is painted in very realistically, showing great technical skill in the fine details. The image appears of be of a great plain, so it must be the homeland of the nomads who own the sheep. In a world of ongoing environmental destruction, this painting is redolent with the majesty of nature.

I hadn't been aware of FAAM until now, and am very impressed by this museum. I think the future of the world is in Asia. The region's economic growth is striking, and artists of Asian heritage have a strong following in the art world. FAAM is a pioneering museum in this regard, having opened 15 years ago and remaining the only one of its kind in the world. It's a pride to Japan.



ジョン・イ/鄭芸(中国)「北方 11989年 Zheng Yi (China) "North" 1989

My Favorite Piece From the FAAM Collections

各ジャンルで活躍する様々な方に、あじびで お気に入りの作品を選んでいただくコー ナーです。

In this section we ask difference members of the community, including artists and residents, to talk about their favorite artworks at FAAM.

vol. 25



デヴィ夫人 Work selection by **Dewi Sukarno**

正式名はラトナ・サリ・デヴィ・スカ ルノ。1940年、東京・麻布生まれ。 1959年6月、訪日中のインドネシ ア共和国のスカルノ大統領と出会 い、同年11月に結婚。1965年 クーデターによりスカルノ大統領 が失脚。混乱の中、日本で長女を 出産し、1967年パリに亡命。以降 40年間海外で暮らす。現在、活動 基点を日本に置き、講演、コメン テーターなど多様に展開。煌びや かな衣装と華麗な経歴、浮世離れ した不思議な存在感で、「デヴィ夫 人」の愛称で親しまれている。

Full name Ratna Sari Dewi Sukarno born 1940 in Azabu, Tokvo. Popularly known as Dewi Fujin ('Lady Dewi'). In June 1959 she met President Sukarno of Indonesia while he was visiting Japan, and married him in November of the same year. Sukarno was ousted in the coup of 1965. In the turbulence that followed, the couple's daughte was born in Tokyo and Sukarno was exiled to Paris in 1967. Dewi Sukarno lived in various countries abroad for the next 40 years before returning to Japan, where she keeps a busy schedule engaged in various activities, including talks

(photo by Chinen Ayumi)

Curator's comment 学芸員から一言

中国北部に広がる広大な草原と、そこで放牧される 羊の群。作家は、繊細な筆致による巧みな写実力で、 乾いた大地や大気を詩情豊かに表現しています。トー クショー後、アジアギャラリーをご案内しましたが、1 点1点熱心にご覧になられ、全く時間が足りませんで した。ご自身も絵を描かれるというだけあって、作品に 対するコメントが的確で、こちらも勉強になりました。 すばらしいトークをありがとうございました。またぜひ ご来館くださいし

This painting depicts a flock of sheep grazing on a wide, grassy field in northern China. Using the finest brushstrokes and an exemplary realistic technique, the artist has portrayed a dry landscape and skies in a most poetic manner. After Lady Dewi's recent talk at FAAM, we took her on a tour through the Asian Galleries and she gazed at every image so thoroughly we ran out of time. Lady Dewi herself paints, and the commentary she gave on the works was very salient. I learned a lot from her. Thank you for your wonderful talk, Lady Dewi, and we hope you visit FAAM again soon!

FAAM'S Lady Dewi talk a great turnout! 大盛況!デヴィ夫人トークショー

美術に造詣が深く、数千点に及ぶすばらしい美術コレクション をもっていたインドネシアの故スカルノ大統領。今年の「福岡 ミュージアムウィーク」では、5月18日にデヴィ夫人をお招きし、ス カルノ・コレクションや当時のインドネシア美術界の話を中心とし たトークショーをおこないました。

冒頭は夫人の生い立ちから、スカルノ大統領との出会いと結婚 までの波乱万丈なお話。夫人は幼少の頃から絵が得意で、大統 領と結ばれた理由の一つには美術が好きという共通点があった からだそうで、互いを描いた肖像画をお披露目してくれました。ス カルノ・コレクションの話では、作品解説だけでなく、森錦泉、 リー・マンフォン(李曼峰)といったあじびも所蔵するアーティスト たちのエピソードもたくさん飛びだしました。わかりやすく丁寧に 言葉を紡ぐ夫人のトークは、軽快で愉快で、1時間半があっとい う間に過ぎていきました。

Indonesia's late President Sukarno possessed a deep understanding of art. and owned an art collection spanning thousands of works. During Fukuoka Museum Week, on 18 May Lady Dewi held a talk at FAAM centering on Sukarno's collection and Indonesia's ar world at the time of his rule.

Lady Dewi talked first about her own background, before detailing the turbulence of her first encounter with



「戦争の経験、貧しさの経験があることが、パワーの源」という言 葉が印象的でした

Lady Dewi made the poignant observation that: "Where there is war and hunger, there is fuel for power."

and later marriage to President Sukarno. She told the audience how she had loved painting from early childhood, and that their mutual love of art was one of the things that connected her with the Indonesian President. She also showed paintings the couple had made of each other. Along with her discussion of Sukarno's collection, Lady Dewi also recounted many tales of artists represented in FAAM's archives. With her choice language and airy, pleasant subject matter, Lady Dewi ensured that one-and-a-half hours passed very quickly for her audience.